

今日も「ー」あがり

第46話

畑に曇りない真っ直ぐな線を引け!

PART2 6巻



皆さん、こんにちは！ 45万円のピアノを衝動買いたロブストス高垣でございます。唐突ですが、皆さんはどうやって気分転換されていますか？ 日本酒という趣味ができて少し救われたものの、呑んでも結局仕事のことばかり考えてしまつて。就寝前の少しの間だけでも仕事から頭を離す時間を作らないと体調を崩しかねない……。危機感を感じて生活を変えようとピアノを買つてみたんです。すると、思いがけない意識の変化が起きました。初心者ながらピアノを弾いていたら、部屋の壁は白いほうがテンション上がるなど、白ペンキで塗りたくりました。夜な夜な無心で塗っていると、次は洋服のハンガーが気になってきて全部買い替えまして。現在はハンガーラックを自作していて、全然ピアノの練習に至りません(笑)。でも、結果的にリフレッシュできているのでOK牧場!! どこかでお会いした際には、ぜひ皆さんのリフレッシュ

法を伝授してください。何事も一歩踏み出すことが大事ですね! ということで、先月に続きマーカークのスタマイズ案件について、お話ししましょう。

既製品をつまぐ活用すべし

茨城県坂東市のSグリーンファームさんから「アグリテクノ矢崎の高速汎用施肥播種機NTP-8AFPに油圧マーカークを作つてもらえないか」とのご相談。僕はまだ油圧シリンドラを組み込んだマーカークを作ったことがない旨を伝えたところ、マスカー



写真1: MASCARのドリルシーダーから油圧マーカークを取り外す。農機のワンオフ対応は、その農場で活用できるアイテムを有効活用するという判断も、短納期&低コストを実現する重要ポイント!

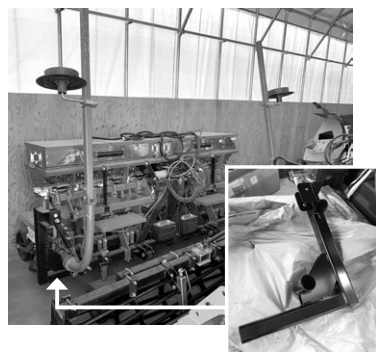


写真2: 今回製作したのは、マーカークの組み付け位置を再現するフレーム。一度の採寸で仕上げたが、アグリテクノ矢崎の高速汎用施肥播種機NTP-8AFPに完璧にフィット!



写真3: 早速、大豆の播種作業で活躍中! 晴れ渡る青空にマーカークが映える〜! 曇りない明日へ向かって出発進行!!



高垣達郎 (たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロブストス代表取締役社長。

のドリルシーダーから油圧マーカークを移設できないだろうかという提案をいただきました。つまり、マスカーの油圧マーカークの位置関係をアグリテクノ矢崎の播種機に干渉しないように再現すれば良いわけです。当然、答えは「なんとかしてみましよう!!」。

2つの播種機を丁寧に採寸しながら、偶然にも同い年だったK岡農場長と農機業界の現状から奥様との馴れ初めまで幅広いテーマで激論を交わしていると、「そうだ! 摺動部にグリスニップルを付けられま

すか? マスカーはグリスが差せなくて」と。まさに現場で大切に機械を使われる方の気付きですから、必ず実現しましょう! 強度は僕のフリーリングで決め打って、道路交通法改正に合わせて反射板とウインカーを装着することも想定して完成〜!! 仕上がりを見たS野社長

が「プロの仕事だ」と言ってくださって、心の中でガッツポーズしました。農業機械のワンオフ対応は決して簡単ではありません。基本的にマーカークは断るでしょう? それは難しいからです。でも利益にならないと避けているうちに、本当に技術を失っていくでしょう。疲れかけた自分の心を整え、社員全員で力を合わせて技術を磨き、農業界に曇りない真っ直ぐな一本線を引いてまいります。来月もロブストスを応援よろしくお願い致します!! というところで、今月も「ー」あがり〜!!